

# 令和元年度(平成31年度)における 手取川上流大汝国有林 崩壊地対策について

令和元年5月29日  
林野庁近畿中国森林管理局  
石川森林管理署



国民の森林・国有林



近畿中国森林管理局

# 令和元年度(平成31年度)に実施する対策の概要

## 自然導入部

自然植生の侵入が見られており経過を観察



撮影:平成30年8月21日(石川森林管理署)

## 斜面上部(乾燥部)

比較的安定した中腹部を中心に近隣で採取した郷土種子による緑化  
【例年の2.5倍の種子を確保したため散布面積拡大】

- 航空緑化導入工A  
種子、肥料等の散布



イメージ

## 斜面上部(湿潤部)

土壌が比較的湿潤な箇所に郷土種のヤナギの枝による緑化

- 航空コア緑化工B  
発根したヤナギ枝と赤土入り麻袋の散布(300袋)



麻袋イメージ

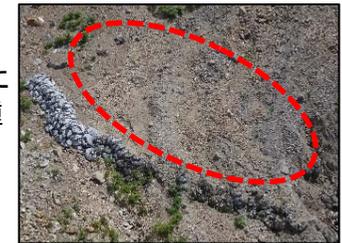


発根したヤナギ枝のイメージ

## 平坦部

土留工の上部を中心に近隣で採取した郷土種子による緑化

- 航空コア緑化工A  
種子、肥料、保水剤入り水溶性容器を散布(500袋)



施工箇所(袋型石詰土留工の上部)



水溶性容器イメージ



ヘリによる散布イメージ

# 令和元年度(平成31年度)対策の進め方について

## 対策の進め方

6月中旬～ **航空緑化導入工(A)**  
**航空コア緑化工(A・B)**

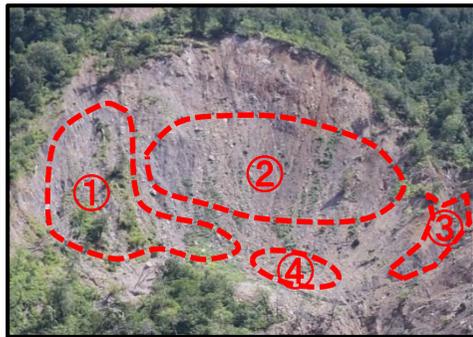
発芽に必要な温度、水分が得られるよう  
夏期に入る前に実施

※秋口には、令和2年度対策用の種子採取を、関係機関と  
連携し実施予定

※航空レーザー測量の実施等により現地斜面に係る  
詳細データを把握しつつ経過を観察

### H30. 9植生調査時

[確認された植生]



①地点  
(草本類)・フキ・ヨモギ・ススキ等  
(木本類)・ヤナギ



②地点  
(草本類)・フキ・フジアザミ



③地点  
(木本類)・ヤナギ



④地点  
(草本類)・フキ・ヨモギ・イタドリ  
(木本類)・ヤナギ

## 崩壊地の状況

融雪後(R元. 5)



5月22日に林野庁、  
技術検討会委員の合  
同で崩壊地の現状確  
認を実施



一部で植生の侵入を確認  
【フキ、ヨモギ、ヤナギなど】

### 【現状確認の結果概要】

- 雪融け後の小規模な侵食・表層崩壊は崩壊地内やその周囲の斜面にみられるが、大規模な土砂移動はなく、全体的に昨年と比較して地形に大きな変化はないと考えられる。
- 上部斜面は、今後芽吹いたら昨年同様に植生の繁茂が進んでいるという印象を持つと考えられる。植生の回復に向けて、土壌づくり(肥料分など)が必要と考えられる。
- 今後の対策としては、昨年と同様に植生の導入を積極的に進めることが可能と考えられる。